

て、大井川の紅葉見にむかはれけるに、三位中將實定卿、さほる事有てと、まられければ、中納言實國卿よみてつかはしける、

もろともに君とみぬまのもみぢばは心のやみのにしきなりけり

返し

さそはれぬ身こそつらけれもみぢばはなにかはやみの錦なるべき

皇太夫人行啓

〔三代實錄陽成〕元慶元年三月八日己酉、皇太夫人清和夫人奉參太上天皇清和、染殿宮、親王公卿相從畢至、宴飲極歡、夜分而還、

皇太子行啓

〔西宮記臨時〕五、東宮行啓

冷泉天皇儲闈初入内記、右列傳、大夫、學士、亮、進、左右兵衛尉已下一員、兵衛廿人上卿奉勅仰外記、陣

頭十人、侍者八人、内舍人六人、殿上人藏人所帶刀等供奉、乘糸毛御車召副、公卿出帶刀料、移馬新立

未補之間行啓、近衛將已下供奉、

延喜十四年二月八日、東宮參亭子院、駕庇指御車、宣旨候御車、行啓如例、其日御祿白綾大褂、躑躅色

綾細長、綾合大口、淺香筥居銀壺入沉香也、御馬二疋、殿上人給祿有差、帶刀等疋絹、

天曆四年十月廿一日、皇太子冷泉入桂芳坊、左兵衛左近啓陣前列啓、内舍人陣頭侍從次之、坊亮大

夫相分前駟、主馬署儲馬二疋、又引御前、太子與女御乘牛車庇差糸毛、車副朝服著深履如中宮例、大少進

侍者宮殿上人從車後云云、

〔日本書紀二十五〕白雉五年十月癸卯朔、皇太子天智聞天皇病疾、乃奉皇祖母尊皇極、間人皇后德后

并奉皇弟公卿等、赴難波宮、